

## 日本臨床検査医学会 2021年度 第4回理事会 議事録

日時：2021年12月25日（土）14：00～16：00

開催方法：オンライン（Zoom）

出席：村上正巳理事長、東條尚子副理事長、メ谷直人会計理事、宮地勇人総務理事、  
山田俊幸庶務理事、古川泰司、前川真人、吉田 博、大西宏明、下 正宗、長沢光章、矢富 裕 各理事  
藤井 聡、諏訪部章、東田修二、木村秀樹、日高 洋、大澤春彦、柳原克紀 各支部理事  
福武勝幸、古田 耕 監事 （以上 理事 19名、監事 2名：合計 21名）

欠席：小柴賢洋、田部陽子 各理事（以上 理事 2名）

### I 理事長挨拶（村上正巳 理事長）

村上正巳理事長から挨拶があり理事会の議事を進めた。

### II 報告事項

#### 1. 支部報告

各支部の終了した例会・総会・地方会、そして例会・総会・地方会の予定、支部役員の交代、支部での検査関係の教授、部長、技師長の退任・新任等について報告があった。

#### 2. 各種委員会報告

##### 1) 学術推進化委員会（矢富 裕 担当理事）

2022・2023年度の学術推進化プロジェクト課題募集がなされていること、2019年度の学術推進プロジェクトの報告が第68回学術集会で行われて、ホームページにも掲載されていることが報告された。

##### 2) 編集委員会（吉田 博 担当理事）

下記について報告された。

- ・日本臨床検査医学会誌表紙の変更について検討して3つのデザインを候補として、常任理事会に提案した。常任理事会では、修正すべき問題点が残っていたため、常任理事会に引き継ぐこととなった。
- ・69巻10号に掲載したトピックスの総説に日本消化器病学会・日本肝臓学会共著の「NAFLD/NASH 診療ガイドライン2020」に掲載されているフローチャート図4点の転載があり、未許諾の状態でのうえ図表を改変して掲載されていたことが判明し、両学会より指摘があり、正式な転載許諾申請手続きと次号以降とホームページに両学会に許諾を得たうえで正誤表を掲載して対応することとなった。また、当学会の転載と引用許諾について混同しており、日本医書出版協会（JMPA）のガイドライン等に準じて情報整理を行い整理したうえでホームページに掲載し対応することとなった。
- ・英文誌で使用する投稿、査読システムについて、ScalarOne Manuscripts を採用する。

##### 3) 学会賞委員会（田部陽子担当理事）

2021年8月17日（火）にZoomで委員会を開催して2021年度学会賞受賞候補者を決定したこと、学会賞募集要項の、一施設からの推薦の表現方法と若手研究者奨励賞と優秀論文賞の選考方法に関して、理事会審議を依頼したことが報告された。

##### 4) 精度管理委員会（山田俊幸 委員長）

2021年度CAPサーベイ参加・進捗状況、2022年度サーベイ申し込み状況、臨床検査グローバルニュース秋号への掲載内容等について報告された。

##### 5) ガイドライン作成委員会（吉田 博 担当理事、大西宏明 委員長）

ガイドライン2021発行に向け最終段階に入っていること、執筆者のCOI開示について従来通り冊子巻末に開示すること、価格についてはページ数が増えることから常任理事にも確認し4,500円（税別）とすること、11月13日に開催される日本医療機能評価機構主催の「【Minds】第23回診療ガイドライン作成に関する意見交換会」に、吉田担当理事、大西委員長が参加しCOIに関して情報を得たこと等が報告された。

##### 6) 遺伝子委員会報告（前川真人委員長）

11月1日(月)にオンライン会議を開催し、PGT(Preimplantation genetic testing; 着床前染色体異数性検査)がゲノム医療推進コンソーシアム運営会議の議論(「全ゲノム解析等実行計画」等)、日本医学会ガイドライン改定(診療録記載等)、リキッドバイオプシー(FOUNDATION ONE LIQUID、GUARDANT)の実用化、アレイ CGH法の保険収載、日本病理学会と合同WGで「がんゲノム検査全般に関する指針」策定作業について意見交換を行ったことが報告された。

#### 7) 医療安全委員会(大西宏明 担当理事)

第68回学術集會中、11月12日に医療安全委員会企画(共通講習:医療安全)として、テーマ「ウィズコロナ・アフターコロナの臨床検査:何が変わり、何が変わらないのか」を開催したこと、同日に委員会を開催し、「検査に関する患者とのトラブル」をテーマとすることが決定したこと、11月23日に、「医療安全全国フォーラム2021」(webセミナー)に、藤井聡委員長が参加したことが報告された。

#### 8) チーム医療委員会(田部陽子担当理事)

「在宅医療」「Covid-19に関する地域連携」「臨床検査技師のタスクシフト」に関してチーム医療の面から委員会内討議を行ったこと、「パニック値」の運用に関して各方面からの意見を踏まえて最終的な提言をまとめ、臨床検査のガイドラインJSLM2021への反映およびホームページへの掲載、医療機関への配信に進む予定であることが報告された。

#### 9) ワークライフバランス委員会(田部陽子 委員長)

2021年1月~12月に、臨床検査専門医取得に関するサポートセンターに17件の問合せがあり回答したこと、8月1日(日)に、第5回ハンズオンセミナーをワークライフバランス委員会主催、近畿支部、教育委員会、日本臨床検査専門医会、日本医師会共催でWeb開催したこと、第68回学術集會でワークショップRCPC challenge、臨床検査医交流・向上ワーキンググループ企画を実施したことが報告された。

#### 10) 統合システムに基づく臨床検査のあり方委員会報告(大西宏明 委員長)

第68回学術集會中の11月12日(金)に2021年度第1回委員会が開催されたこと、患者参画型の臨床検査、保険診療におけるAIに基づく臨床検査の導入、臨床検査データベースの構築などに関して議論が行われ、EBLM委員会、臨床検査項目分類コード委員会等の関連委員会へ協働を打診することとなったことが報告された。

#### 11) 学術集會企画委員会(山田俊幸 委員長)

第1回委員会を11月12日富山ならびにオンラインで開催し、下記について協議したことが報告された。

- ・第68回学術集會実行委員長、原田健佑先生から、開催概要の報告があった。ランチョンセミナーが10社と少なかったこと、ハイブリッド+オンデマンドで、登録数1,300程度は欲しいとの話があった(当日時点で1,100くらい)
- ・山田俊幸第69回会長、柳原克紀第70回会長から開催の概要について説明があった。
- ・第72回学術集會会長の推薦については、第71回学術集會会長から外れた支部と、会員数などを考慮して関東甲信越支部の2支部を推薦することとした。
- ・学術集會継続企画として、ICD講習会、日本医学会連合加盟学会連携フォーラム共済事業の2企画は継続してもらうこととした。
- ・運営会社を固定する試みが65回~67回に行われたが、その効果を検証していないので検討の必要がある。
- ・オンラインツールの活用について議論した。

#### 12) 新型コロナウイルスに関するアドホック委員会(柳原克紀 委員長)

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の状況に応じながら、①2021年5月27日:新型コロナウイルス変異株検査に対する考え方、②・2021年8月24日:COVID-19における抗体検査についての基本的な考え方(改定版)の提言を公表したこと、第68回学術集會(2021年11月13日、富山)において、委員会を開催して、今後の活動内容につき協議し方針を共有したことが報告された。

#### 13) 国際委員会(宮地勇人 担当理事)

2022年度国際学会奨励賞の募集を2022年3月末期日で募集していることが報告され、応募依頼がなされた。

#### 14) 教育委員会 (山田俊幸 担当理事)

常設 e-learning として 20 分ほどの 5 つのコンテンツを準備していることが報告された。

#### 15) 地域医療における臨床検査に関するアドホック委員会 (山田俊幸 担当理事)

11 月初旬に委員会を開催し、今後の活動方針について検討したことが報告された。

#### 3. 第 69 回学術集会報告 (宇都宮 2022/11/17(木)~11/20(日)、山田俊幸 会長)

2022 年 11 月 17 日 (木) ~20 日 (日) に、栃木県総合文化センター (メイン)、宇都宮東武ホテルグランデ (サブ) において、山田俊幸会長 (自治医大) のもと、テーマ「地域社会に貢献する臨床検査」として可能であれば対面開催予定であり、演題募集期間は 2022 年 5 月 13 日~6 月 17 日、URL: <http://jslm69.umin.jp>、運営会社は (株) サンプラネットに依頼をしたこと等が報告された。

#### 4. 第 70 回学術集会報告 (長崎 2023/11/16(木)~11/19(日)、柳原克紀 会長)

2023 年 11 月 16 (木) ~19 日 (日) に、出島メッセ長崎 (長崎)、運営会社は (株) コンベンションリンケージとすることが報告された。

#### 5. 第 17 回 ASCPaLM 報告 (神戸 2022/10/7(金)-10/9(日)、宮地勇人 会長)

第 17 回 ASCPaLM の会長については、前回の理事会で承認を得たが、概要について半世紀の歴史があり当学会が支えてきていたが、今後もアジアとの協調のため協力いただきたい。第 17 回 ASCPaLM は、2022 年 10 月 7 日 (金) ~9 日 (日) に、神戸において、日本医療検査科学会、JACLaS EXPO 2022 と同時開催すること、演題登録は 2 月から開始すること等が報告された。

#### 6. 臨床検査「パニック値」運用に関する提言書 (最終版) について (村上正巳 理事長、諏訪部章 理事)

臨床検査「パニック値」運用に関する提言書について、4 の問い合わせ先を「意見提出先」として意見を求める形としたこと、別表については「の例」を入れて最終版とすることとしたことが報告された。

#### 7. 厚生労働省からの ICD-11 和訳に関する依頼・回答について (村上正巳 理事長、古田 耕 監事)

2019 年に ICD-11 和訳タスクフォースを設置して、ICD-11 和訳を半年程度かけて行った。その後から現在まで厚生労働省から和訳依頼が 2 回目、3 回目があり対応したが、3 回目に関しては、それぞれ 2-300 項目の MMS 版、Foundation 版の 2 種類があり、かなりの作業量であったことが報告された。

#### 8. 本学会からの関連団体委員推薦について (更新) (村上正巳 理事長)

前回の理事会 (10/16) 以降に推薦した下記委員が報告された。

- ・日本医学会連合 Japan CDC (仮称) 創設に関する委員会 (第二次) 委員  
宮地勇人先生 (2021/10/25~2023/6 定時社員総会)

#### 9. 次期理事・監事選挙結果について (谷直人 選挙管理委員会 委員長)

①2021 年 12 月 4 日 (土) 15 時~17 時に、学会事務所において、理事・監事選挙について選挙管理委員会で開票を行い下記の通りとなった。

- ・ 理事 {投票人数 128 名(評議員数 200 名)、無効投票数 0 票}  
1 位: 大西宏明 (118 票)・木村聡 (118 票)、3 位: 日高洋 (116 票)・古川泰司 (116 票)・吉田博 (116 票)、6 位: 松下一之 (115 票)、7 位: 満田年宏 (99 票)、8 位: 森兼啓太 (95 票)
- ・ 監事 {投票人数 128 名(評議員数 200 名)、無効投票数 0 票}  
1 位: 諏訪部章 (126 票)

②選挙後、次期理事長候補者の選定に関して監事が主導することについて、監事より理事会下で行われるべき行為であると指摘があり、監事を選挙管理委員会委員長に変更するよう細則の改定を答申することが報告され、審議のうえ、その方向とすることとなった。

#### 10. 2022 年度実施管理医および専門医認定試験実行委員長について (村上正巳 理事長)

臨床検査専門医・管理医審議会で、2022・2023 年度臨床検査管理医試験実行委員長については、山田俊幸先生 (自治医大) に依頼すること、開催方法については、現在、臨床検査専門医試験と同日開催しているが、新型コロナ

ナウイルス感染拡大の影響となるような密な状態とならない観点、また、臨床検査専門医試験実行委員長の負担も大きいということから単独での開催を模索する方向とすること、2022・2023年度臨床検査専門医試験実行委員長については、古川泰司先生（帝京大）に依頼すること、ただ、会場については、新型コロナウイルス感染拡大の影響により帝京大学が使用できない可能性があるため、その際には都内の会場を借りて実施することが承認されたことが報告された。

#### 11. 専門医関連事項について（山田俊幸 専門医担当理事）

教育委員会で20分程度のe-learning教材を作成して2022年早々に開始予定であり、機構専門医の診療実績の証明0.4単位取得可能で、受講費用は1,100円とすること。2022年4月開始の専攻医応募状況について、現時点、プログラム制4名、カリキュラム制15名の応募があること、サブスペシャリティ領域専門医制度について、タイムスケジュール、サブスペシャリティ領域専門医となる条件、手順、2023年度シーリングについて当会は対象外であるが、他領域の都市部での登録数をめぐって議論されていること等が報告された。

#### 12. 日本臨床検査同学院報告（宮地勇人 日本臨床検査同学院 理事長）

一級臨床検査士資格認定試験、二級・緊急臨床検査士資格認定試験、遺伝子分析科学認定士資格認定試験、POCT測定認定士資格認定試験の実施状況と結果について、第37回「緒方富雄賞」選考結果、贈呈式、記念講演会を11月28日（日）に学士会館で開催したこと、第68回日本臨床検査医学会学術集会以共催シンポジウム：テーマ「新たな時代に向けた臨床検査領域の人材育成」を11月13日（金）に富山国際会議場とWEBのハイブリッド開催したこと等が報告された。

#### 13. 臨床検査振興協議会報告（村上正巳 臨床検査振興協議会 理事長）

在宅医療における臨床検査に関する小委員会、遺伝子関連検査に関する小委員会、感染症対策に関する小委員会、広報委員会、大規模災害対策委員会、将来ビジョン検討委員会の活動報告、法人化に向けての定款・規程を整備し、事務所については日本臨床検査薬協会近くの物件に定めて契約を進めて、法人登記の準備をしていること、ホームページの改修を進めており、2022年始めに更新予定であることが報告された。

#### 14. 医療関連サービス振興会 衛生検査所 調査指導員の推薦依頼について（村上正巳 理事長）

医療関連サービス振興会からの衛生検査所業務の調査指導員の推薦依頼について、7・8月、10・12月に審査が入ることが多く、その際、実際に協力可能な方の推薦が各支部に依頼された。

#### 15. その他

日本臨床検査専門医会の〆谷直人会長より、2022年1月1日から一般社団法人となることが報告された。

### Ⅲ 審議事項

#### 1. 2022・2023年度支部理事候補者について（村上正巳 理事長）

正式な選任は、定時社員総会での決議によるが、各支部から2022・2023年度支部理事の推薦があり承認された。

#### 2. 学会賞委員会からの協議事項について（田部陽子 学会賞委員会 担当理事）

学会賞募集要項「3. 応募資格」にわかりにくい箇所があるとして、一推薦者からの推薦可能人数の表現方法の修正、若手研究者奨励賞と優秀論文賞の選考について、同一年度に同時に選出された場合は若手研究者奨励賞を優先して選考すると改定することが提案され承認された。

#### 3. 名誉会員推薦に関する運用規定（会則改定委員会 東條尚子 担当理事、〆谷直人 委員長）

名誉会員推薦の資格要件の学術集会会長、特別例会会長は、その他の資格要件と重複するため削除することが提案され承認された。

#### 4. 選挙管理委員会と会則改定委員会による審議事項（会則改定委員会 東條尚子 担当理事、〆谷直人 委員長）

現在、選挙理事は、一度選出されると次期は選挙なしで重任できることとなっているが、選挙理事人数の偏りが出る一因ともなるため廃止する提案、理事、監事の継続可能な任期は8年となっているが、理事から監事への任期については、理事と監事は責務が異なるため、理事と監事を同一に扱わず、理事のみに適用する提案があり承認された。

#### 5. 日本臨床検査医学会誌 表紙について（村上正巳 理事長）

日本臨床検査医学会誌表紙について、69巻からサイズ変更とともに変更されたが、会員より遺伝子に特化した図案は学会の性格に合わないのではないか、緑に白抜きは見え難い等の意見があった。そのため、編集委員会でアンケートを実施してあらためて変更することとなったことを受けて、常任理事会で検討してデザイナーにコンペを実施のうえ選定する提案があり、承認された。

#### 6. 第71回日本臨床検査医学会学術集会 会長について（村上正巳 理事長）

北海道支部と近畿支部から立候補を受けて、常任理事会で検討して、近畿支部から推薦された日野雅之先生（大阪市立大学）を第71回学術集会（2024年）の会長として推薦され承認された。

#### 7. 評議員の再任について（2022/01/01付）（村上正巳 評議員資格審査委員会 委員長）

2022年1月1日付での評議員再任対象者44名について、33名から申請書類が提出され、再任単位を満たしており承認された。7名については再任単位不足のため辞退を認めた。3名は未提出のため当該支部に確認依頼がなされた。

#### 8. 日本臨床細胞学会からの細胞検査士認定証等での理事長印についての申し入れについて（村上正巳 理事長）

細胞検査士認定試験は、日本臨床細胞学会と当会で共催しており、委員委嘱状、認定証には連名で押印している。押印について理事長印のデータ印使用の申し入れがあった。

まず、細胞検査士認定試験は1965年日本臨床検査同学院で立ち上げ、軌道に乗せた、その後、日本臨床細胞学会、同学院、日本臨床検査医学会の3団体で共催した。臨床細胞学会が公益法人化した後に事務局を移し、その後、当会と細胞学会の共催となった。細胞検査士の認定は、日本臨床細胞学会と当学会の連名で発行している。という経緯が報告され、検討された。

現在、当会が実際の認定制度に関わっていないため、認定に関する委員会に実際に委員が出席して、認定制度に関与し、試験の実施内容、結果などを把握することが重要である。そのうえで、理事長印のデータを渡すことは問題ない。ただ、理事長印のデータを他学会に渡すことは法的に問題ないかを確認することで承認された。

#### 9. その他（山田俊幸 庶務理事）

2022年度理事会、定時社員総会日程（仮）予定が報告された。

- ・2022年度第1回 理事会（現理事・監事）：2022年3月27日（日）11：00～13：00
- ・2021年度に係わる定時社員総会：〃 13：00～14：00
- ・2022年度 第1回理事会（新理事・監事）：〃 14：00～14：15
- ・定時社員総会：〃 14：15～14：30
- ・2022年度 第1回理事会（新理事・監事）：〃 14：30～15：30

#### IV 閉会の挨拶（東條尚子 副理事長）

東條尚子副理事長より閉会の言葉があり本理事会は閉会された。

以上

2022年3月1日

一般社団法人日本臨床検査医学会 理事会

議長 理事長 村上正巳

副理事長 東條尚子

監事 福武勝幸

監事 古田 耕